

# 平成 28 年度 自己評価書

学校名	和歌山市立今福小学校
校長氏名	亀位 直規
作成日	平成 29 年 2 月 1 日

## 1 教育目標

健康で、豊かな情操と創造的実践力のある子どもの育成 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身共に健康な子ども</li> <li>豊かな情操をもつ子ども</li> <li>学ぶことの楽しさや喜びをもてる子ども</li> </ul>
-----------------------------------	---

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全の学校</li> <li>地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育・人権教育の充実</li> <li>異年齢の子どもの関わり方の推進</li> <li>特別支援教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育学習研究の充実</li> <li>学力補充時間の確保</li> <li>朝の読書タイムの実施(うちどくの推進)</li> <li>家庭学習の充実</li> </ul>

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・保護者・学校が一体となり、子どもたちが明るく、生き生きと学べる学校を築く。</li> <li>学校の教育活動を地域や保護者に情報発信する。(学校だより、学年だより等を出す)</li> <li>子ども心に残る「今福まつり」を通して、地域との連携を深める。</li> <li>介護支援の必要な校区の診療所で交流を深める。</li> <li>感謝の気持ちを込めて、見守り隊の方々を集会に招き交流をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の時間の取り組みを充実させ、思いやりの心をもった児童を育てる。</li> <li>人権教育を推進・充実させ、より一層、基本的人権の尊重の精神を正しく身に付ける。</li> <li>縦割り活動による仲間づくりを行い、高学年が低学年を大切にすることを培う。</li> <li>児童の実態を細かく把握し、全職員で共通理解を図り、その指導にあたる。</li> <li>特別支援教育の考えや児童の様子について、全職員で共通理解を図り、児童の実態に応じた支援体制を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育科の研究授業等を通して授業の工夫・改善を図るとともに、子どもたちが楽しみながら継続的に運動できることをめざす。</li> <li>全学年において「朝の読書タイム」を実施し、読解力を伸ばす。また、放課後の15分は学年に応じて漢字・計算ドリル等の学習を行い、基礎学力の定着を図る。</li> <li>全学年において家庭学習の定着を図るとともに、うちどくの推進を図る。</li> </ul>
----------	---	---	---

取組の成果と課題【C】	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月発行している学校だよりを通して、学校教育に関心をもっていただき地域・保護者・学校が連携して、安心・安全に努めることができた。</li> <li>訪問しやすい学校として、意識的に取組、開放月間は302人と多くの方が来校した。</li> <li>地域の一人であることを自覚し、老人クラブや介護施設のお年寄りとの交流により豊かな情操を育てることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嫌がらせ等が少なく、低学年の子を思いやる心が、十分に育ってきている。</li> <li>保護者のボランティアによる読み聞かせ等により、児童の豊かな情操の育成に繋がっている。</li> <li>縦割り活動による仲間づくりにより、高学年が低学年を思いやる心や、世話をする姿勢等が整ってきている。</li> <li>自分の学級や担当だけでなく、全職員で「今福の子」について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力学習状況調査等では、国語の読み取り等に課題がある。</li> <li>学年により異なるが、一人ひとりの課題を明確化し、基礎学力の充実を図る。</li> <li>朝の活動を読書タイムのみとし、放課後の活動を補充の時間として、家庭学習等においては時間が十分取れていないのが課題である。</li> </ul>
-------------	--	--	--

改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> <li>より開かれた学校として、今後もあらゆる機会をとらえ信頼される学校としての意識化に向けて、全職員が地域との連携を図り多くの交流をする。</li> <li>新1年生から防災ずきんを着用させ、防災に備え意識を高める。また地域とともに災害について考え、今後も一層の連携に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童は全体的に落ち着いてきている。今後もより一層、道徳教育と人権教育を要し、全教育課程を通して、児童のゆたかな心の育成を目指し、その取り組みの充実を図っていく。</li> <li>縦割り活動による仲間づくりについて、より一層の充実を図る。</li> <li>すべての児童が、「あいさつ」・「返事」・「お礼」が言えるよう、日々の生活指導に積極的に取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活との関連も含め、児童の実態にあった学力向上の対策を進めたい。今後も学力補充の時間を始業前と放課後の時間に位置づけ確保したい。</li> <li>学力の二極化傾向の改善する手立てを考える。</li> <li>日々の授業や研究授業をする中で、指導方法や内容についての研修を一層深めていきたい。</li> </ul>
---------	---	--	--

## 3 その他の課題

<p>その他の課題として、学校施設や児童の安全指導、安全管理等について下記の取組を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月2回以上、登校時における全職員による校外指導(交通安全週間は毎日、新学期は1週間行う)</li> <li>毎月2回の校内安全点検</li> <li>全児童対象の交通安全教室の開催</li> <li>每学期全児童の集団下校指導と通学路点検</li> <li>每学期緊急時避難訓練・・・地震、火災、不審者等の3回</li> </ul>
--